

## 教育実践の取り組みと成果「入学前教育」

太 田 昌 宏\*  
鈴 木 浩 子\*\*

### 1. はじめに

明星教育センターの教育実践として、2010年度から全学入学前教育を実施してきた。

2020年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から、対面での入学前教育は行わなかったが、10年間にわたって、初年次教育・キャリア教育を実施する明星教育センターが、入学前の高校生に向けて入学前教育を実施してきた意義は大きい。

本稿では、10年間の報告書を基に、全学入学前教育の実施状況をまとめ、その成果と今後の課題について考察する。

### 2. 全学入学前教育の実施経緯

明星大学が、大学として入学前教育に取り組み始めたのは、2008年度である。年内入試（推薦系）による入学予定者（AO 入試・指定校・卒業生子女等）を対象に、学びや大学生活への期待や不安に大学として対応することを目指したものである。

当初は業者委託による通信添削を基本とし、アドミッションセンター、学生支援センター（現：学生サポートセンター）の運営で実施された。

2010年度に明星教育センターが開設されると、明星教育センター内に「全学入学前教育に関する委員会」が設置され、入学前教育に携わることとなった。アドミッションセンター、学生サポートセンター、キャリアセンター、教務事務センター、及び各学部の協力を得ながら、内容を充実させてきた。詳細は表1のとおりである。

表1 入学前教育の実施経緯

年度	実施内容	運営詳細等
2008	・業者委託による通信添削	・運営：アドミッションセンター ・希望する学科のみ参加
2009	・業者委託による通信添削 ・通信添削の結果不良者のフォロー講座	・運営：アドミッションセンター・学生支援センター（現：学生サポートセンター） ・全学科が参加

\* 明星教育センター特任教授

\*\* 明星教育センター常勤教授

2010	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①スタートアップ講座(入学予定者・保護者)、②通信添削、③フォローアップ講座、④スクーリングの4ステップの全学入学前教育を開始(東日本大震災により③フォローアップ講座は中止)。</li> <li>・①スタートアップ講座実施の目的は、年内入試の入学予定者の不安を期待に変える、大学の入学前教育を積極的に活用し入学前の時間を有意義に使う意識を持たせる、大学をより身近に感じてもらうこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明星教育センター開設。「全学入学前教育に関する委員会」設置。</li> <li>・アドミッションセンター、学生サポートセンター、キャリアセンター、教務企画課(現教務事務センター)ほか全学の教職員が運営に参加。</li> <li>・全学プログラムと学科プログラムの内容や日程の重複が問題となった。</li> </ul>
2011	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ講座に「学科等説明会」を追加。在学生との交流の機会を持った。</li> <li>・スタートアップ講座の目的は、①入学前教育の意義を伝える、②大学の授業への期待感を持たせる、③同じ学科の入学予定者同士交流する、④通信教育の意義や進め方の担当教員からの説明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学科等説明会」には6学科が参加。</li> </ul>
2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学科等説明会」を「学科交流会」に名称変更。</li> <li>・スタートアップ講座では、「大学生活をイメージさせる」ことを意識したプログラムを作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科交流会には全学科が参加。</li> <li>・スタートアップ講座、学科交流会には、多くの在学生・勤労奨学生が参加。</li> </ul>
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前教育全体の構成及び名称を全体的に整理。</li> <li>①スタートアップ講習(プレースメントテスト・大学生活スタート講座・学科交流会・保護者ガイダンス)</li> <li>②通信教育</li> <li>③フォローアップ講習</li> <li>④スクーリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレースメントテストは、通信教材のレベル判定のために「国語」「英語」および「数的処理」・「数学」(いずれか1つ)を実施。理科学科は理系学科・学系・コースのみを対象として自宅受験。</li> <li>・通信教育では「文章力」を重視し「書くこと」に慣れさせるため、「200字要約問題」「600字小論文」を課した。</li> </ul>
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信教育をeラーニング教材を中心としたものに変更。</li> <li>・年内入試合格者、及び一般入試合格者に向けて「⑤特別講座」を導入し、「高校までの学びと大学での学びとの違い」を理解するねらいで実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニング教材導入</li> <li>・プレテストは英語・国語のみ学内受験。</li> <li>・通信教育は国語・論作文以外はeラーニングで実施。</li> <li>・特別講座では全学共通教育委員会の教員に協力を依頼。</li> </ul>
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度の実施内容をブラッシュアップして実施。</li> <li>・eラーニングの学習状況をモニタリングし学習支援(電話・メール・郵便)を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ講習は3日程で実施。</li> </ul>
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度の実施内容をブラッシュアップして実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ講習は2日程で実施。</li> </ul>
2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度の実施内容をブラッシュアップして実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信教育の終了率は、継続して毎年伸長している。</li> </ul>
2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度の実施内容をブラッシュアップして実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングの講座を「やる気!応援プロジェクト!」と名称を変更し実施。参加者が昨年度に比べて、大幅に増加した。</li> </ul>
2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度の実施内容をブラッシュアップして実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、3月以降実施予定のフォローアップ講習、特別講座は中止。スクーリングも一部講座を中止した。</li> </ul>
2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクーリングをオンライン講座で実施予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、2020年度のスタートアップ講習は中止した。</li> </ul>

### 3. 明星教育センターの取り組み

#### 3-1. 各プログラムの参加者数等

明星教育センターが関わった2010年度から2019年度までの参加者数等は表2のとおりである。

表2 各プログラムの参加者数

年度	スタートアップ講習				フォローアップ講習参加数	スクーリング参加数 (延べ人数)	特別講座参加数
	実施日数	入学予定者参加数	入学予定者参加率	保護者参加数			
2010	6日	935	80.4%	974	未計測	未計測	
2011	3日	880	85.1%	931	29	未計測	
2012	3日	880	84.6%	1,167	84	355	
2013	3日	832	89.0%	未計測	67	35	
2014	3日	883	86.7%	934	80	47	371
2015	3日	916	90.4%	969	21	2	350
2016	2日	874	88.7%	918	6	97	222
2017	2日	928	87.2%	945	46	45	256
2018	3日	1,072	93.2%	1,090	26	1,033	294
2019	2日	1,041	90.3%	1,205	中止	401(2月)	中止

※特別講座は20104年度から実施

### 3-2. 各プログラム内容詳細(2018年度実施内容)

内容詳細については、全プログラムを実施した2018年度の例を挙げる。ここまでの実践の中でブラッシュアップされたプログラムである。

表3 プログラムの構成と実施日程(2018年度)(報告書から抜粋して加筆)

		7・8月	9・10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
対象者				AO9月 AO10月	AO11月、指定校、スポーツ・文化活動特別、卒業生子女特別	公募制			
大学全体のプログラム		学科主任説明会(7月下旬)		①～⑤					各学部・学科で行われる入学前プログラム
明星教育センターのプログラム	① スタートアップ講習 <sup>(1)</sup>	プレテスト問題検討		11日(日)	23日(日)	12日(土)			4月3日及び5日アセスメントテスト
	② 通信教育 <sup>(1)</sup>	eラーニングコンテンツ検討							
	③ フォローアップ講習 <sup>(1)</sup>							20日(水)	
	④ スクーリング <sup>(1)</sup>								
	⑤ 特別講座 <sup>(1)(2)</sup>							20日(水)	

(1) AO9月、AO10月、AO11月入試合格者、推薦入試合格者(指定校、公募制、スポーツ・文化活動特別、卒業生子女特別など)

(2) 一般入試(前期、中期)、大学入試センター試験利用など

表4 各プログラムの概要(2018年度)

	目的	対象	実施日	主な実施内容
スタートアップ 講習	・年内合格者が入学までの期間を有効に使うための動機付けを行う	AO・推薦入試 合格者	第1回 2018年 11月11日 第2回 2018年 12月23日 第3回 2019年 1月12日 (学科交流会 実施せず)	・(1)～(4)のプログラムを実施
(1) プレテスト	・通信教育のレベル分けを行う			・英語、国語・数学(数的処理・理系数学)
(2) 大学生活 スタート講座	・入学前の準備を確認する ・通信教育実施への動機付けを行う			・自己紹介、大学生活準備度チェックなどのグループワーク ・通信教育ガイダンス ・校歌の紹介
(3) 学科交流会	・入学する学科の上級生や教員と接し大学生活のイメージをつくる			・学科毎に各教室に分かれて実施 ・内容は学科の判断による
(4) 保護者 ガイダンス	・入学予定者の保護者に明星大学を理解してもらい、入学までの準備への協力を求める	上記の保護者		・大学の歴史、現状、教育理念、教育方針、入学前プログラムに関する説明およびDVD上映 ・在学生スピーチ
通信教育 (eラーニング)	・入学後の学習に必要な基礎学力の修得 ・学習習慣の獲得	AO・推薦入試 合格者	2018年12月 ～2019年2月	【必修科目】 国語、英語、数学(数的処理、理系数学)、論作文 【選択科目】 物理、化学、力学(学科、コースによって異なる)
フォローアップ 講習	・入学後の学習に支障をきたさないようにフォローする ・学習ステーションについて知る	2019年2月28日 時点において通信教育の主要3科目(英語、数学、国語)の平均進捗率が50%未満の入学予定者	2019年 3月20日(水)	・大学生活で学習を自己管理する意味を考えさせるためのグループワーク
スクーリング	・通信教育をサポートする ・大学生活の準備を促し、学習への意欲付けを行う	スタートアップ 講習参加者	2019年 2月～3月	・通信教育の課題に関する質問をしたい場合、さらに勉強したい場合に活用する ・大学生活を送る上で有益な講座を受講する
特別講座	・一般入試合格者に対して入学前教育の機会を提供する ・大学での学びの入口を体験し、発想を広げる	一般合格者 (前期・中期) AO・推薦入試 合格者	2019年 3月20日(水)	・大学の授業を体験する ・自分が受けた授業を他のグループメンバーに報告し、それを題材として大学での学びについて考える

#### 4. 明星教育センターの入学前教育の成果と課題

明星教育センターが実施してきた入学前教育の目的は、大きく分けて次の4つである。

- (1) 大学生活への夢や期待を高める
- (2) 学ぶ意欲を引き出す
- (3) 基礎学力を向上させる
- (4) 学び続けることの重要性を認識させる

ここでは、上記4つの目的について、その成果をのべる。

### (1) 大学生活への夢や期待を高める

年内入試合格者を対象とした「スタートアップ講習」(2012年度までの名称は「スタートアップ講座」)では、「大学生活スタート講座」や「学科交流会」を通して、入学予定者に翌年4月以降の大学生活をイメージさせることができた。入学予定者にとっては、実際にキャンパスを訪れ、大学教員や在学生から大学生活についての具体的な話を聴き、他の参加者と交流する中で、大学生活への夢や期待を高める機会になったと考えられる。

### (2) 学ぶ意欲を引き出す

年内入試合格者、及び一般入試合格者を対象として2014年度から継続して実施してきた「特別講座」では、入学予定者が実際に大学教員の講義を受け、その内容について他の参加者と交流することを通して、大学での学びを具体的にイメージさせることができた。さらに、2018年度からスクーリングの一環として実施した「やる気!応援プロジェクト!」講座では、入学後の学習に必要となるパソコン講座やコミュニケーション講座、英語・数学・国語の講座を提供した。これらを通して、入学予定者の学ぶ意欲を引き出すことができたと考えられる。

### (3) 基礎学力を向上させる

年内入試合格者を対象として、スタートアップ講習時のプレースメントテストの成績に応じたレベル別の通信教育を、業者委託により継続して実施してきた。2010年度から2013年度までは、紙媒体の教材であったが、2014年度以降はeラーニングでの実施に切り替えた。eラーニング実施後の結果をみると、科目によってばらつきはあるものの、総じてプレースメント実施時より点数は伸びており、年内入試合格者の基礎学力の向上に寄与することができたと考えられる。

### (4) 学び続けることの重要性を認識させる

年内入試合格者を対象とした通信教育では、受講者の脱落防止に重点を置き、学習状況の把握に努めた。学習が滞った場合には、速やかに学習支援(電話やメール等で学習を促す)を行った。通信教育の期間を通して、学習状況が思わしくなかった学生に対しては、フォローアップ講習を実施し、学習を継続することの意義を伝え、自覚を促した。これらを通して、学び続けることの重要性を認識させることができたと考えられる。

以上の成果を踏まえた上で、最後に、入学前教育の課題について述べたい。課題は以下の3点である。

#### (1) 一般入試合格者への対応

近年、大学が実施する入学前教育については、入学後、学生の学習を支援するための基礎データを得る、という役割の重要性が指摘されている。この役割を重視した場合、年内入試合格者だけでなく、一般入試合格者についても、学習への取り組み状況を入学前に把握するための方策が必要となる。

#### (2) プログラムの精選

大学の予算編成方針として、2020年度全学入学前教育プログラムは、全額受益者負担で行うこととなった。今後、この方針が大きくは変わらないとすると、従来のプログラムを精選して実施することが必要となる。

#### (3) オンライン化の推進

2020年度は、コロナ禍の社会状況の中で、入学前教育プログラムは、大幅に縮小することとなった。今後、このような社会状況の変化に柔軟に対応できるようにするため、オンライン化を軸とした入学前教育プログラムの再構築が必要である。

以上